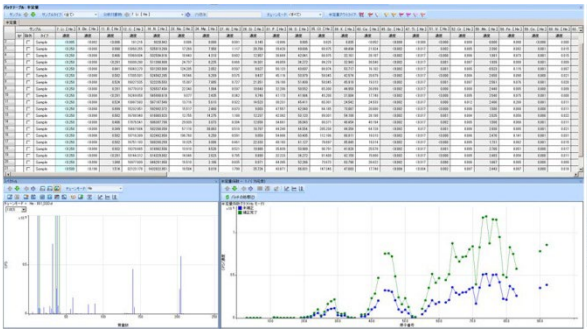
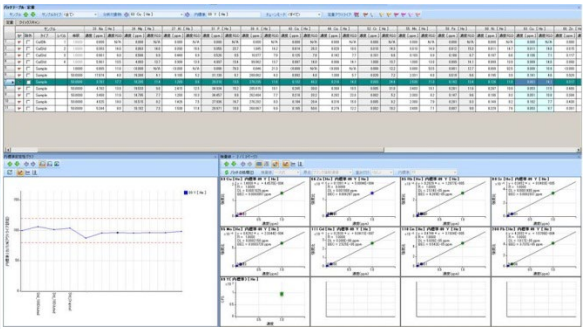
飲料中のミネラル組成を分析

事　例	飲料中のミネラルの組成を測定しました。
試験内容と結果	飲料中のナトリウム（Na）、カリウム（K）やカルシウム（Ca）等のミネラル及びストロンチウム（Sr）やニッケル（Ni）等の金属組成を誘導結合プラズマ分析システム（ICP 質量分析装置（ICP-MS））を用いて測定しました。  【半定量測定結果画面】  【定量測定結果画面】 試料中に含まれるミネラルや金属の組成や含有量が不明瞭な場合については、半定量測定を行うことによって傾向を把握することができます。組成や含有量をある程度把握している場合、及び半定量測定の結果を踏まえて、標準試薬を用いた定量分析を行うことも可能です。 また、ICP 発光分光分析装置（ICP-OES）も整備していますので、測定対象成分の含有量等によって使い分けることも可能です。前処理装置として、マイクロ波前処理装置も整備しています。
使用装置	誘導結合プラズマ分析システム（平成２６年度導入） **ICP-OES** メーカー名：　Agilent Technologies 型式：　5100 ICP-OES **ICP-MS** メーカー名：　Agilent Technologies 型式：　7900 ICP-MS **マイクロ波前処理装置** メーカー名：　Anton Paar 型式：　Multiwave PRO 【機器の概要】 誘導結合プラズマ（ICP）を用いて、ミネラルや金属の組成や含量を測定します。試料は液体で供給しますので、湿式分解用前処理装置として、マイクロ波前処理装置を利用することも可能です。
手数料 使用料	手数料：ミネラル分析（1 件は3元素までとし、1 元素増すごとに3，800円を加算する。） 15，000円／件 （分析前の処理や分析に要する日数により料金が加算される場合があります。） 使用料：誘導結合プラズマ分析システム　6，500円／時間